

令和3年度一般会計決算 歳出 336億3484万9千円

【主な歳入】

- ・市税 131億3132万5千円
市民税52.7億(個人36.9億・法人15.8億)
固定資産税63.6億・都市計画税6.6億
軽自動車税2.2億・市たばこ税6億円
- ・ふるさと寄付金等 5億3319万9千円
- ・地方消費税交付金 17億9477万8千円
- ・地方交付税 16億2738万1千円
- ・国庫支出金 81億9168万8千円

【主な歳出】

- ・ふるさと応援寄附金事業 2億76157千円
- ・まちづくり推進センター運営事業 1億3580万円
- ・鳥栖北まちづくり推進センター改修事業 1億4485万9千円
- ・新庁舎整備事業 11億3921万5千円
- ・社会福祉協議会費 4157万2千円
- ・子どもの医療費助成事業 2億8832万6千円
- ・保育園管理運営事業 28億2931万1千円
- ・児童手当支給事業 13億3977万円
- ・休日救急医療センター運営事業 3741万1千円
- ・次期リサイクル施設用地取得事業 8682万2千円
- ・企業立地奨励金 1億5683万2千円
- ・田代大官町・萱方線等道路改良事業 3億644万2千円
- ・飯田・水屋線等道路改良事業 2億3477万8千円
- ・河川浚渫改良事業 1億3197万5千円
- ・地方バス路線事業 5031万2千円
- ・公園施設長寿命化事業 3693万8千円
- ・市民公園整備事業 1億551万3千円

令和4年9月定例会

一般会計補正予算 9億4050万5千円
令和4年度補正後 341億1365万円

【主な歳出】

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 1226万7千円
- ・道路維持・舗装事業 2000万円
- ・市民公園基本計画策定 950万円
- ・全国消防操法大会出場経費 535万3千円
- ・鳥栖西中学校樹木伐採 780万円
- ・財政調整基金 6億4000万円
- ・公共施設整備基金 2億円

令和3年度決算

【主な歳出】

- ・学校給食センター運営事業 1億8562万5千円
- ・田代小学校大規模改造事業 1億7377万3千円
- ・中学校給食運営事業 1億3096万5千円
- ・放課後児童健全育成事業 1億4122万2千円
- ・市民体育館改修事業 4億5586万3千円
- ・子育て世帯等臨時特別支援 13億5787万8千円
- ・新型コロナワクチン接種 4億6800万8千円
- ・鳥栖市応援金給付事業 3721万2千円
- ・応援クーポン券発行事業 1億6193万5千円

より良い鳥栖に わくわく宣言



発行者
西依義規
〒841-0005
鳥栖市弥生が丘
2-110-1
TEL.0942-84-8439
e-mail:
waku2sg@gmail.com

【市長(答弁)】
鳥栖駅周辺整備事業につきましては、平成30年12月に財政上の理由で断念したことを踏まえ、事業再開に向けた可能な取り組みとして、これまで都市開発基金への積み立てを行っているところでございます。
事業を断念した当時、山積する大型事業を抱え、すべての事業を並行して進めていくことは、本市の財政上困難でありましたことから、市民の皆様へ安全と安心の重要性を鑑みまして、(仮)健康スポーツセンター整備事業や鳥栖駅周辺整備事業などに優先をし、防災拠点としての市庁舎の建設を決定したところでございます。その後新産業集積エリアにアサヒビールの進出が決定したほか、(仮)味坂スマートインターチェンジ、国道3号鳥栖拡幅、国道3号鳥栖久留米道路を始めとする市の東部における開発が進むなど

鳥栖市を取り巻く状況が変わってきつてございます。こうした周辺環境の変化を踏まえ鳥栖駅周辺整備事業につきましては、財政的にも実現可能な方策の検討に向け鳥栖市の将来像を見据えた議論を深めるとともに、関係機関との調整を図ることが重要だと考えております。
現在JR九州と課題の整理を行うなど課題解決に向けた準備にとりかかっています。



平成12年の鳥栖駅周辺整備のイメージ

鳥栖駅周辺整備 4年ぶりに協議再開

財政的にも可能な方策をJR等関係機関と調整

【西依(質問)】
9月定例会一般質問にて新産業集積エリア事業もアサヒビールの進出で事業の目的が立ったようだが、これでストップしている鳥栖駅周辺整備事業の議論や交渉を再スタートできるのではないかと？

【市長(答弁)】
鳥栖駅周辺整備事業につきましては、平成30年12月に財政上の理由で断念したことを踏まえ、事業再開に向けた可能な取り組みとして、これまで都市開発基金への積み立てを行っているところでございます。
事業を断念した当時、山積する大型事業を抱え、すべての事業を並行して進めていくことは、本市の財政上困難でありましたことから、市民の皆様へ安全と安心の重要性を鑑みまして、(仮)健康スポーツセンター整備事業や鳥栖駅周辺整備事業などに優先をし、防災拠点としての市庁舎の建設を決定したところでございます。その後新産業集積エリアにアサヒビールの進出が決定したほか、(仮)味坂スマートインターチェンジ、国道3号鳥栖拡幅、国道3号鳥栖久留米道路を始めとする市の東部における開発が進むなど

子育てしやすい鳥栖市へ 病児保育事業の実施を

【西依(質問)】
■病児保育事業が開始できない理由は何か。事業者と市との協議の現状はどうか。

【部長(答弁)】
■課題については、事業のための専用施設が必要で、調理室を設けることも条件となっており、事業所の施設整備に費用を要すること、職員の配置においても利用児童数に応じて、常駐の看護師及び保育士の確保を要することとなっております。更に、小児の対応が可能な医師との連携も課題となるところでございます。
市内での事業実施には、至っていいところではございますが、今年度から小郡市と病児及び病後児保育事業の相互利用について協定を締結いたしております。

病児療養中の小学6年生の児童まで小郡市の病児保育施設に直接登録して、利用ができるようになったところでございます。今後も、市内での事業開始に向けて働き掛けを続けていくとともに、市外の病児保育を実施している施設の広域的な利用受入について、近隣自治体等へのご相談を検討してまいりたいと考えております。

【部長(答弁)】
■本市における移動支援といたしましては、鳥栖市社会福祉協議会の鳥栖市ファミリー・サポート・センター事業の送迎サービスをご利用いただいているところでございます。
この事業に加えて、令和3年度には新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、産前産後の時期に里帰りや



子育て家族の移動支援 子育て応援フリーバスの導入を

【西依(質問)】

■市は路線バスに赤字補填として補助金を約5千万円を支出しているが、赤字補填するくらいなら、高齢者・障がい者・子育て世帯等を無料にして、無料分をバス会社に支払った方がいいのでは。

妊婦の方や未就学児の保護者が無料でバスに乗れる「子育て応援フリーバス」を導入してはどうか。

【市長(答弁)】
■無料特別乗車証(埼玉県鶴ヶ島市) 高齢者(70歳以上)・障がい者(介護者)・マタニティ・フリーバス(妊婦の方) 子育て応援フリーバス(未就学児の同伴保護者)



無料特別乗車証(埼玉県鶴ヶ島市) 高齢者(70歳以上)・障がい者(介護者)・マタニティ・フリーバス(妊婦の方) 子育て応援フリーバス(未就学児の同伴保護者)

実家からの応援が困難な方をはじめ、新生児がいる子育て世帯を支援するため鳥栖市子育て支援クーポン券発行事業において、市内のタクシー事業者による移動支援を実施したところでございます。
本年度は、子育て世帯等へのアンケートを行う予定としていることから、議員提案の移動支援も含めて、より良い子育て支援につながるよう努めてまいりたいと考えております。

公会計化を期に学校給食を 無償化を検討してはどうか

【西依(質問)】

■中学校給食費の無償化のために追加で毎年1億円支出することに対し、市民の理解は得られると思う。まずは中学校からの無償化を検討しては

給食費無償化(就学援助等)

小学生	2億1500万円	(2700万円)
中学生	1億2000万円	(1900万円)
合計	3億3500万円	(4600万円)



【市長(答弁)】
■議員ご案内のとおり、中学校給食費の無償化を実施する場合、就学援助などで既に公費で負担している分を除けば、現在の算出条件で、新たな財源として1億円程度が、毎年毎年、必要となってまいります。
中学校給食費の無償化につきましては、子育て世代の方にとっては、負担軽減になり、子育て支援策の一つとしては受け入れられるのではないかと考えておりますが、その財源となる負担についても考えなければなりません。
現在、本市では、各公共施設の改修事業や新庁舎建設事業をはじめ、多くの事業に取り組んでいるところであり、財源に限られる中、突発的な事業に対しても柔軟に対応していく必要があると考えております。
現時点では、学校給食法の規定からも、保護者にご負担していただくものと考えております。

9月議会一般質問

①鳥栖駅周辺整備の協議再開を

新しい整備計画は幅広い視野で

【西依(質問)】
 ■前回の整備計画(橋上駅、自由通路、駅前広場、駅西交差点)ではまちづくりの効果が限定的では。

【部長(答弁)】
 ■前回の計画は、鳥栖駅周辺におけるまちづくりの課題を解決する手段として計画したものであり、歩行者の東西移動や駅利便性の強化、駅前広場の交通結節機能の向上、また、西側駅前の複雑な交差点形状の改善による交通安全対策など課題解決についての効果が見込めるものであると考えております。

鳥栖駅周辺で民間再開発事業を

【西依(質問)】
 ■前回の計画だけでは不十分だ。鳥栖駅東側に民間再開発事業(下写真)を実施しては。また合わせてペDESTリアンデッキ整備事業を実施してはどうか。

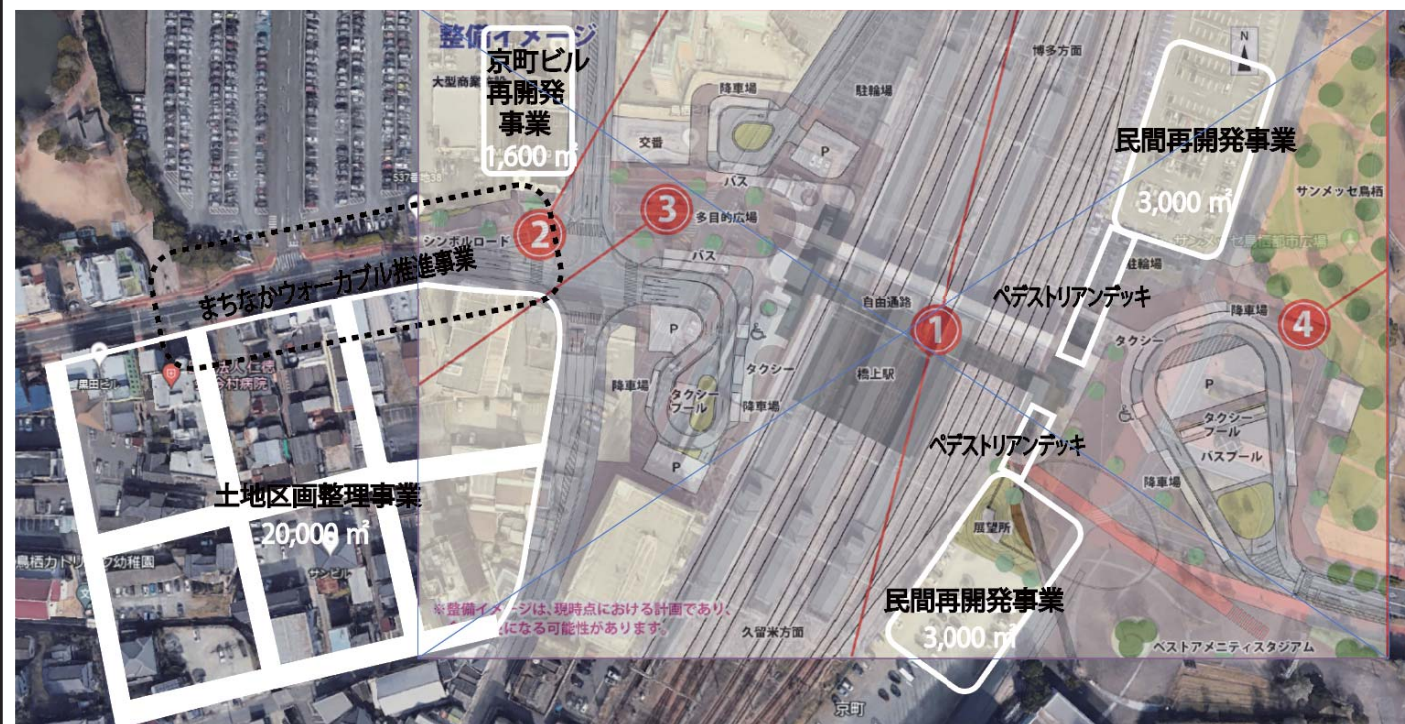
【部長(答弁)】
 ■前計画では、鳥栖駅東側のまちづくり施策として、鳥栖駅東側公有地の土地利用の方向性を整理し、民間開発用地として都市整備用地の設定を行っており、新たな都市機能の導入促進を図るため、住宅に加え、商業や工業を含め新たな都市機能の導入を目指すこととしていました。なお、歩行者専用の高架建築物であるペDESTリアンデッキにつきましては、新たな橋梁の設置となるため、整備や維持管理の経費が高額になることから考えておりません。

【西依(質問)】
 ■駅舎だけ綺麗にしても市民の理解は得られないのでは。鳥栖駅を降りた時に最初に見える街の景観が重要だ。鳥栖駅西側の京町ビルで民間再開発事業ができないかと考えている。市として関係機関等に働きかけてはどうか？

【部長(答弁)】
 ■京町ビルにつきましては、本市主導の整備計画へ追加することは考えておりません。



参考：民間再開発事業(愛知県刈谷市)
 地上21階・店舗1・2階
 公共施設3階・事務所4～7階



鳥栖駅周辺整備計画(私案)…前回計画(橋上駅舎・自由通路・駅前広場・駅前交差点)に民間再開発事業・ペDESTリアンデッキ整備・土地区画整理事業・まちなかウォークラブル事業を追加

中央市場周辺の土地区画整理事業を

【西依(質問)】
 ■駅西側の中央市場周辺についても土地区画整理事業などを計画し、整備計画に加えてはどうか？

【部長(答弁)】
 ■追加の整備につきましては、経費が加算されることによるため非常に難しいと考えております。

まずは、都市インフラと位置付けられる駅舎、自由通路、駅前広場に加え、周辺道路、交差点など、行政が行うべき整備をしっかりとして進めていく必要があると考えており、このことが地元の気運醸成につながり、結果として民間投資等の呼び水になってくるものと考えております。

駅周辺は居心地が良く歩きたくなるまちづくりを

【西依(質問)】
 ■鳥栖駅から中央公園までの道路をまちなかウォークラブル推進事業などで整備計画に加えてはどうか？

【部長(答弁)】
 ■前計画では、鳥栖駅から中央公園までの区間を駅につながるシンボル



まちなかウォークラブル推進事業(車中心から“人”中心の空間へと再構築)

ロードと位置付け、歩行者等の安全性・快適性を確保するとともに、良好な環境空間、沿道景観を形成するために広い歩行空間を設けることを計画していたところでございます。

議員ご提案のまちなかウォークラブル推進事業につきましては、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを推進する事業として、国土交通省が令和2年度に創設された事業であり、この事業が本市に適用可能かどうかにつきましては詳細に検討する必要がありますと考えております。

市独自の解消策で入所待ち児童の解消を

【西依(質問)】
 ■保育所の入所待ち児童(0～2歳)の解消はできたのか。

【部長(答弁)】
 ■特定の園への入所を希望しているなどの理由により保育所入所を待たれている年度当初の2歳児以下の入所待ち児童数は、令和2年度で70人、令和3年度で71人、令和4年度で53人となっております。今年度におきましては、入所待ち児童数は減少しておりますが、解消には至っていない状況でございます。

入所待ち児童の解消のための方策として、令和4年度からは、保育士ひとりあたり月額上限5万円の家賃を助成する事業を開始し、更なる保育士の新規雇用に向けているところでございます。

家庭で子育てをする世帯にも支援が必要では

【西依(質問)】
 ■保育所を利用せずに家庭で子育て

をしたいと考えている世帯にも現金給付などの支援が必要では。

【部長(答弁)】
 ■2歳児までの児童においては、世帯の収入や世帯の子どもの人数等に応じて、保育料を負担していただいております。多子世帯への半額免除や全額免除、非課税世帯の免除とあわせまして、約1割の世帯は保育料無料となっております。

一方で、保育所を利用せずに家庭で子育てをされる世帯に対しては、子育ての負担感、不安感を軽減することなどを目的として、乳幼児訪問事業や子育て支援センター事業の充実を図っているところでございます。

現時点においては、家庭保育をされる世帯に対する現金給付の支援は考えていないところでございます。

